

2019年度1学期【4月9日(火)～6月22日(土)】 聴講のための授業科目のご案内

※ご不明な点があれば学院(011-871-7892)にお問い合わせください。

曜日	科目名	講師・教師	授業内容
火曜日	ギリシャ語文法①・②	小澤和男師	【週2回(火・金)】 ギリシャ語で書かれている新約聖書原典を読むために、基礎的な文法を学びます。多くの時間と努力を要する学びですが、原典に接することで得られる恵みは、計り知ることができません。
	宣教学序説	松元 潤師	「今日におけるキリスト者の宣教」(J・ストット、C・ライト共著)から、「宣教、伝道、対話、救い、回心」の用語を定義し、深化して、私たちが遣わされる教会を考えることを目指します。
	旧約聖書緒論	M・ヴィッドマー師	旧約聖書をどのように読むのか?この講義では、旧約聖書正典とテキストの特徴を理解し、クリスチャンの観点から解釈します。また様々な批判的研究方法を紹介し、それらを批判します。
	キリスト教史①	菜花和男師	【通年科目】「過去に目を閉ざす者は現在に盲目となる」ヴァイツゼッカー。一学期は古代です。テキストは、井上政巳監修「キリスト教2000年史」(いのちのことば社、2000年)です。
	ヨブ記	高橋養二師	私が聞くことが出来たヨブ記のメッセージは『神は、苦しみを通して、人を、贖いについての更に確かな理解と祝福に導く』でした。この恵みを皆さんと分かち合いたいと思います。
水曜日	文章論	込堂一博師	本クラスでは、キリスト教信仰(教会・宣教)における文章の重要性を認識し、文章作成の姿勢や文章作成能力の向上を目的とします。そのためにクラスでは、一方的講義ではなく、実際に文章を書くことを通して実践的に学びます。
	ヘブル語文法②・③	松元 潤師	【週2回(水・土)】 旧約聖書の原典であるヘブル語聖書を読み、理解するための基礎的な文法の学びです。すでに文法書第7課を学んでいますので、初めての方は3学期からご参加ください。
	旧約聖書通論①	吉田浩二師	【通年科目】 創世記から小預言書までを3学期かけて学びます。各書を自分で読むことができるようになる「鍵」をお渡ししたいと思います。
	教会論	松元 潤師	【組織神学科目】全15回の学びになります。4月10日～5月8日は3～6時限目(10:55～12:40/昼食/13:40～15:25) 5月15日～6月19日は3.4時限目(10:55～12:40)に開講。 私たちクリスチャンは「教会」に所属しながら教会に関して誤解や混乱したままに教会生活を送っているかもしれません。その原因を知った上で、教会とは何かを問い直しつつ、教会生活や諸活動について学びます。
	使徒の働き	吉田麻希子師	使徒の働きの概要をつかみ、主の聖霊に導かれ満たされて宣教と教会形成に励んだ姿から学びます。
木曜日	組織神学序説	松元ハンナ師	【組織神学科目】全15回の学びになります。4月11日～5月16日は1～4時限目(8:20～10:05/チャペル/10:55～12:40)、 5月23日～6月20日は1.2時限目(8:20～10:05)に開講。 神学を学ぶ意味、神学の前提、などを一緒に考えます。神学することと神のために生きることが統合されていくための本質的な学びです。
	啓示・聖書論 全15回 1学期は5回/2学期10回	松元ハンナ師	【組織神学科目】全15回の学びになります。一学期は5月23日～6月20日、二学期は9月5日～11月14日に開講。 聖書そのものが何を語っているかを土台に、啓示の意味と価値を学びます。そして、学院の授業の柱となっている聖書釈義の前提である、聖書の無誤性について共に考え、私たちの聖書観を確認します。
	北海道キリスト教史	吉永光生師	日本教会史からさらに焦点を絞り、学院が置かれている北海道のキリスト教史を学びます。伝道・開拓・教会形成がどのようになされ、社会に影響を与えてきたかを学ぶことで、今後の宣教の手がかりを掴むことを目指します。
	説教理論Ⅲ	小澤和男師	講解説教の準備を学ぶためのより実践的なクラスです。「説教理論Ⅰ・Ⅱ」「ギリシャ語文法」を履修された方が履修することができます。
	キリスト・救済論	水草修治師	【組織神学科目】全15回の学びになります。4月11日～5月23日は3～6時限目(10:55～12:40/昼食/13:40～15:25)、 4月25日、 5月30日～6月20日は3～4時限目(10:55～12:40)に開講。 このクラスの目標は、キリストにあつて、創造と救済と御国の完成の守備一貫した理解を獲得し、それに基づいて明快に福音を提示する伝道の実践力を身につけることです。
金曜日	旧約聖書神学	M・ヴィッドマー師	旧約神学研究を概観し、旧約主要テーマ(契約・神の宣教・預言・祭司制度など)を取り上げます。また、それらを通してキリストとその働きをどのように理解するべきかを考察します。
	個人伝道	堀田修一師	主の恵みを味わい、みことばを学び、御聖霊に拠り頼んで主を伝える器となることを目標とします。イエス様の個人伝道から学び、創造、罪、救いの確信、三位一体についてなど、個人伝道の実践を学びます。
	牧会学Ⅰ(基礎)	竹本邦昭師	教会とはなにか、教会者とはだれか、何を、いかになすのか、「教会」ということばを使う人によって様々な混乱が起きています。このような牧会の現場での混乱、教会の中の痛みを聖書からの解決を求めます。
	ギリシャ語釈義②	小澤和男師	みことばが伝えようとしている真の意味を理解するために、中上級文法やさまざまな分析技術を学びます。ギリシャ語文法を履修した人が履修できます。
土曜日	新約聖書通論①	吉田麻希子師	【通年科目】 新約聖書の各巻の背景を理解し、その内容を把握するための学びです。
	説教理論Ⅱ	松元 潤師	「説教理論Ⅰ」の履修者が、講解説教(ビブリカル・プリーチング)の理論と実践の理解をさらに深めること。そのために例題を繰り返して行います。
	宣教史	菜花和男師	20世紀末、比重が欧米の教会からアジア・アフリカ・南米の教会に移った状況下、宣教に寄与した人物を手がかりに福音の進展を見てゆきます。テキストは、中村敏「世界宣教の歴史-エルサレムから地の果てまで-」(いのちのことば社、2006年)です。
	帰納的聖書研究法	吉田麻希子師	聖書が何を語っているかを観察し、解釈・適用を考える、帰納的聖書研究法の実践を学びます。
	キリスト教倫理	菜花和男師	21世紀において、教会・キリスト者はどう生きるべきか。現代社会の課題を意識しつつ、キリスト教倫理の土台として十戒を取り上げます。テキストは、泉田 昭「キリスト教倫理」(いのちのことば社、2009年)です。

※1 聴講を希望される方は、聴講願書にご記入の上、学院へご提出ください。所属教会の責任者の推薦が必要です。(聴講願書は、同封いたしました。足りない場合は、コピーしてください。)

※2 聴講料は1科目につき1学期間15,000円です。3回に分割して納入することもできます。(1ヶ月5,000円×3回) 複数の科目を聴講し、1ヶ月の聴講料が20,000円以上になる場合は、20,000円を超過した分は免除となります。